



諫高だより

ふじ むらさき  
**藤 紫**

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

## 諫高の校歌

校長 石部 邦昭

### 熱い

『1、2。1、2。……』『有明の 光は清明(さや)に 多良岳の…』若者の大きなかけ声と歌声が多良岳にこだました。新入生宿泊研修最終日の朝の事であった。彼らはこのあとクラス対抗の集団訓練コンクールと校歌コンクールに臨む。クラスで最後の仕上げをしていたのだ。私もそのコンクールの講評をするために国立諫早青少年自然の家に来たのだが、圧倒されるように、しばし車を停めて脇の方から1年生の活動を見入った。

熱い。若者が燃えている。夢中になっている。予想通りコンクールは盛り上がり実に見事な出来映えであった。講評に臨む自分が興奮しているのがわかる。「生徒諸君、今の校歌をインターハイ会場で、甲子園で、都大路で、花園で、国立競技場で歌おうではないか。諫高の校歌は大きな声で晴れがましい所で歌ってこそ栄えるもの。行くぞ! 全国大会。歌うぞ! 校歌。」声が裏返るほどトーンが上がった。

### みんな歌ってますね

甲子園といえば諫高が初めて甲子園の土を踏んだのが、1972年(昭和47年)の選抜大会である。1回戦は不戦勝で2回戦の相手は愛知の成章高校。相手は強豪で本校は3点を先取されたが、粘りに粘って5対3で勝ち、悲願の「甲子園で校歌を」が実現した。勝ち名乗りを挙げた諫高ナインがホームプレートに整列し大きな口をあげ、大きな声で校歌を歌った。校歌が甲子園球場にこだまし、バックスクリーンに校旗が上がった。その時にテレビの解説者の一言が後で話題になった。「素晴らしい学校ですね。みんな歌ってますね」。「!?!。校歌は応援席も含めて全員で大きな声で歌うもの。あたりまえのこと」と言いたくなるが、解説者も他の学校とは違った雰囲気を感じ「選手が涙を流しながら大きな声で校歌を歌う全員野球のすがすがしさ」を最大級の褒め言葉で表現したのであろう。

この時の結果はベスト8であった。蛇足であるが、野球部OBの小島啓民氏(S57年卒、早大—現三菱重工)も「2度目の甲子園で決勝打を放ち、勝利の校歌を声高らかに歌ったことが素晴らしかった」と80周年記念誌で述懐している。

### 母校その名に栄えあれ

本校の校歌は1番だけで覚え易くリズムも良い。最後に「母校その名に栄えあれ」と母校を讃え繁栄を祈る。校歌は卒業しても歌い継がれる。いや卒業してからが味が出るのだ。冠婚葬祭をはじめありとあらゆる機会に歌われる。そして、ほとんど感極まって涙する。この素敵な素晴らしい校歌を作ってくれた作詞家風木雲太郎先生。残念ながら昨年末に94歳でお亡くなりになった。本校で教鞭をとりながら詩人としても活躍し、詩集もたくさん出した人だ。諫高としては、教師としてのご功績を讃えと共に素晴らしい校歌を作っていただいたことに感謝あるのみである。風木先生作詞の校歌を口ずさんだ卒業生は3万人を超えた。校歌はいつまでも諫高生の心に残り歌われていく。

県下の高校生スポーツの祭典、高総体も間近に迫っている。本校の小森浩貴君の「歓迎の言葉」で開幕する第60回記念大会。我々は戦いの最高潮でそして勝利の雄叫びの時に肩を組んで校歌を高らかに歌いたいものである。

「母校その名に栄えあれ」



御書院で懸命な練習をする応援団



# 高総体に向け準備万端！

平成20年度長崎県高等学校総合体育大会（第60回記念大会）が、5月31日（土）から諫早市を中心に開催されます。本校は、男子168名、女子95名、計263名が22種の競技に、本校の榮譽と自己の榮譽のため、参加します。大会まで残り10日ほどになり、各部とも最後の仕上げに取り組んでいます。3年生にとっては最後の大会です。悔いのない戦いをして欲しいと願っています。

大会に先立ち、5月30日（金）に長崎県立総合運動公園陸上競技場で総合開会式が行われます。本校は中心校として、歓迎のことばを述べる3年7組小森浩貴君や吹奏楽部・放送部を初め、様々な係で213名の生徒が参加します。また、本校選手団として、旗手の3年7組古賀慎也君（柔道部主将）を先頭に94名の生徒が参加します。

音楽隊で参加する吹奏楽部→



←活躍が期待されるソフト部  
(昨秋の九州大会より)



↑入場行進（昨年度の開会式より）



# ★★PTA総会を開催★★

—ご参加ありがとうございました。—

平成20年度PTA総会が5月11日(日)に開催されました。61%の保護者の方々に参加していただきました。ありがとうございました。総会では、石部校長の挨拶の後、会務報告や予算・決算の審議と役員改選が行われ、新会長として村井一郎氏が選ばれました。

総会後に、学年ごとに学年PTAが開かれ、学年の現況報告やこれからの指導方針についての説明がありました。参加された保護者の方々は熱心に耳を傾けておられました。最後に、学級ごとに分かれて、学級懇談会を行いました。クラスの状態についてやこれからの行事や生活と学習について、具体的に説明が行われ、参加された保護者の方々はこれからの子供たちの成長に期待しながら家路につかれました。



写真右上は、挨拶する石部校長とご参加の保護者の皆様、右は会長就任の挨拶をされる村井一郎氏。



## <学習方法セミナーを開催しました> . . . 1年生

第1学年では、高校に入学して1ヶ月が過ぎ、初めての中間考査を終えた5月15日(木)・16日(金)に、「学習方法セミナー」として、国語・英語・数学の予習の仕方や授業の受け方、復習の仕方について指導を行いました。終了後に実施したアンケートによると、多くの生徒が勉強の仕方が良く分かったと答えていました。特に、英語の学習の仕方が分かったと答えた生徒が多かったです。これからも生徒たちに、学習内容だけでなく、学習の仕方も指導していくように考えております。

# 自転車は便利！でも危険な乗り物！！

—平成 20 年度交通講話より—

5月7日(水)に、本校体育館で平成20年度交通講話を実施しました。講話では、交通安全のビデオを視聴した後、諫早警察署交通課の森 廣紀氏から講話をしていただきました。ビデオの内容は、高校生が違法な自転車の乗り方をして事故を起こし逃げてしまい、事故を起こした高校生は、その事故に思い悩み、最後は被害者に謝りにいくという内容でした。その後の講話では、全国や長崎県・諫早市での自転車事故の件数などについての紹介がありました。本校では、約半数の生徒が自転車通学をしており、便利な乗り物ですが、加害者にも被害者にもなりうる大変危険な乗り物であるということを再認識する機会になりました。軽微な事故ですが、本校でも年間に数件の自転車事故も発生しております。今後も、いろいろな機会に、交通安全について指導していきたいと考えております。写真は、森 廣紀氏の講話の様子。



## <各部活動の戦績>

### <陸上部>

○納戸記念久留米陸上競技大会 平成20年4月29日 久留米市  
高校女子走り幅跳び **第1位 板山瑤子** (3-1) 5m30

### <水泳部>

○第1回長崎県高等学校春季水泳競技大会 平成20年4月27日 長崎市  
男子400M個人メドレー **第3位 山田紘平** (2-7) 5分17秒99

### <弓道部>

○第48回諫早つつじ祭り県下弓道大会 平成20年4月27日 本校  
高校生の部 団体

**優勝 諫早高校Cチーム**

(本田廉人 (3-6), 野崎修平 (3-8), 馬場達也 (3-7))

**第3位 諫早高校 Jチーム**

(村島成美 (3-6), 鳥越伊沙帆 (3-1), 浦村尚美 (3-1))

高校生の部 個人

**優勝 野崎修平** (3-8)

## 今後の行事予定

5月23日 NHK杯高校野球中地区  
予選 vs 諫商 (島原市宮野球場)

5月24日・25日 連合音楽会  
(長崎市公会堂他)

5月30日 高総体開会式  
(諫早市)

5月31日～6月2日 高総体

6月4日 高総体報告会

6月7日 県一斉実力(2・3年)  
校内実力(1年)

6月11日 理数科課題研究発表大会  
(諫早文化会館)

6月12日～15日 陸上北九州大会(長  
崎市かきどまり陸上競技場)

6月15日 NHK杯放送コンテスト県  
大会 (長崎市NHK)

6月19日 期末考査時間割発表